

上記日程にて、担当教員宮園啓介先生の「公務員試験対策講座」の中での総長先生の御指導をオンラインにて見学致しました。ここにその感想を述べたいと思います。

授業開始に先立って、総長先生より学生へ、公務員試験合格のために大学が全面的にサポートしていくと話されたことで、学生の勉強への思いが振れないように気遣われていてさすがだなと感じました。また、担当の宮園先生がより合理的な指導が出来るように助言していかれることも述べられていました。

授業の形式として、「テキストを読ませる」「解答・解説をよませる」「ポイントとなる箇所にアンダーラインを付けさせる」「その部分を暗記させる時間を取る」「実際に論文を書かせる」と一連の流れが出来ており、これを繰り返すことで学生の理解度が高まると感じました。総長先生が、担当教員の先生がアンダーラインを指示した箇所以外に、別の箇所もアンダーラインを引かせて、学生がより理解が可能なように指示されており、学生全員が＜確実に＞理解できるように総長先生が細かい配慮をされていたことに感嘆致しました。

各所で20分ほどの時間を与えて学生に論文を書かせた結果、時間が足りず、全て書ききれなかった学生もいましたが、全員が的を得た内容であり、時折総長先生がこういう内容も加えた方が良いとのアドバイスをされていたことで、論文をどのように書いていくのかの基礎的な部分が理解出来ただろうと感じました。

今回の授業でも、総長が常に掲げられている「分からない子を分かるようにする」「一人の脱落者を出さず、全員が分かるようにする」「全員を合格させる」という理念を具現化したような授業を拝見できたことは幸せであり、自分自身の勉強にもなりました。

担当教員の先生が、常に大事なポイントとなる部分にアンダーラインを引かせた上で、暗記させたことで、学生の記憶により残ったのではと思いました。勿論、総長先生が常日頃仰っているように、授業内で記憶に残せたとしても、人間は忘れていくので、復習がとても重要であるため、これからの学生の頑張りに期待したいと思います。

今回の授業でも、総長先生が論文を書く際に、テキストに書いてあることをしっかりまとめて暗記すること、最初からオリジナリティを出して書かないことを説かれました。この総長先生のお言葉に沿って勉強を進めていき、公務員を希望している全員が合格することを願うものであります。